

問 年金相談事業について、相談員による相談状況は年間どの位か。また、相談の内容はどのようなものか。

答 相談員による相談件数は、28年度実績で、1,793件・相談実施日数は196日となっている。

相談の内容は資格異動に関するものが5割・年金給付に関するものが3割・保険料免除に関するものが2割となっていて、例年同程度の割合となっている。

問 がん検診事業について、1回あたりの受診者数は。

答 がん検診については、保健センターで実施する集団検診と各医療機関で実施する個別検診があるが、集団検診については、1回あたり約100人である。

問 空調設備整備事業で整備するエアコンは、夏も冬も使用できるが、使用時の温度設定などの運用は、どのようにするのか。

答 暖房については、現在、FF式石油暖房機が設置済みの教室については、それを使用してもらい、未設置の教室については、エアコンを使用してもらう予定である。

また、温度設定などの詳細な運用については、今後、学校長などに現場の意見を伺いながら定めていきたいと考えている。

問 現市立図書館は絵本など児童書が比較的多いという特色があるが、生涯学習センターの蔵書の特色についての考え方は。

答 現市立図書館の蔵書の特色である、児童書の充実を継承しながら、基本構想・基本計画の内容を踏まえた特色のある選書を行っていきたい。具体的には、児童書の充実のほか、レファレンス資料の充実、人文系資料の充実、また、洋書コーナー、視聴覚コーナーの設置などを考えている。



現市立図書館

問 創業支援事業のプチ創業には、子育て中の方など関心のある方が多いと思われる。周知方法をどのように考えているのか。

答 広報しらおか、ホームページ、ココシル白岡を活用する。また、PTAの関係者なども関心が高いと伺っていることから、関係部署と連携を図っていく。

問 果樹産地振興対策事業について、29年度比1.6倍だが理由は何か。

答 防除ネット購入などに係る補助であるが、28年度は実際の補助率が14.1%と低かった。補助率を上げるため予算を増額した。

問 白岡中学校周辺区域の土地利用について、タイムスケジュールはどのようになっているのか。

答 現時点で考える30年度のスケジュールについては、7月上旬から事業化検討パートナーの募集を開始し、8月中旬から下旬にプレゼンテーションを実施する。役員会で内定した事業者は、全体会である総会(来年度の上半期)にかけ正式に決定して行きたい。

その後は、事業化検討パートナーとの協議を行うことになる。また、埼玉県との協議については、継続して行うことになる。市としては、県との協議状況にもよるが、土地区画整理事業の準備会を立ち上げ、最終的に土地区画整理事業の認可を目指して行きたい。

反対討論

エネルギー問題については、白岡としても原発に頼らない政策への取組が必要です。また、市独自の商工業や農業政策、観光政策などの強化が必要です。来年には消費税10%への引き上げが予定されています。白岡としても消費税引き上げには反対すべきです。

賛成討論

厳しい財政状況の中であって、教育環境の整備事業、次代を担う子育て支援、都市基盤の整備事業など、将来に向けた市の発展のために必要な事業が計上されており賛成します。